

「令和元年度 第2回大月みらい協議会」 会 議 概 要

日 時 令和元年6月12日（水）午後7時から午後9時まで
場 所 大月短期大学 会議室
出席者 委員18名（欠席4名）、オブザーバー1名
委員 小笠原則雄、長田弘、小俣理美、久嶋敏明、小林聡、三枝良光、
佐藤總明、清水一力、志村淳、庄司有紀、白川恵子、白川太、鈴木龍子、
中島啓介、三木範之、矢光重敏、山口隆太郎、渡邊光明
オブザーバー 佐藤茂幸 （※敬称略）
【事務局】 兼子総務部長、井上企画財政課長、久保井地域活性化担当リーダー、堀内、
後藤

1. 小俣議長あいさつ

皆様こんばんは。突然寒くなりました。先程家に戻って、冬物の服を持ってきた次第です。皆様風邪など召されていませんか。私は所用で出かけていたのですが、膝を悪くしまして水がたまりました。初めてのことです。年齢を感じてしまいました。ここにいる皆様はお若いのでそんなことはないかと思いますが、くれぐれもお体を大事にしてください。

本日、第2回目のみらい協議会では、新任の委員の皆様はまだ何が何だかわからない状況でお越しになったのではないかと思います。再任の皆様はとても優しいと思います。意見を聞いていただきまして、皆様で和気あいあいとやっていただければと思います。本日はよろしくお願ひ致します。

2. 議事

（1）令和元年度第1回会議概要について

- 会議概要を市ホームページへ掲載することについて審議を行い、市ホームページへ掲載することについて承認されました。

（2）今後の進め方について

【小俣議長】

それでは次に移ります。議題の2、今後の進め方についてです。この件については、既に案内通知に、『別紙』としてご連絡させて頂きましたが、再度私の方から説明させて頂きます。

人口問題・地域活性化という大きなテーマがある中で、第1回会議において、「ふるさと教育」の取り組みの内、「職場体験事業」、「学童クラブ事業」、「情報発信事業」につきましては継続して取り組んでいくことが確認・了承されました。

しかしながら、今期はこの取り組みだけを実施するということが決まったわけではありません。「夢塾」の再検討等、委員の皆様から様々な意見もあり、今後、皆様と新たなテーマの可能性を含めた中で議論し、決めていかなければいけないと考えております。

その議論に入る前に、新任を含めた全ての委員の皆様へ、今一度、これまで取り組んできた「ふるさと教育」の取り組み内容を共有していただいたうえで、これまでの取り組みの深化や新たなテーマの可能性を模索する等を判断していただき、今後の進め方を決めていきたいと考えております。

よって、今日の会議では、前期グループの代表者に成果発表を行っていただき、当面、全ての委員に「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」のいずれかのグループに加っていただきたいと考えております。

繰り返しになりますが、今後の進め方について、皆さんから意見をいただきたいと思いますと思っておりますが、今説明したように、皆様には、まず、ふるさと教育の取り組みについて理解を深めていただくことから始めていただきたいと思いますと思っております。

以上のような流れで進めて参りたいと考えておりますが、皆様、このような流れで進めてもよろしいでしょうか？

(了承)

【小俣議長】

ありがとうございます。それでは、このような流れで進めていきたいと思えます。

また、会議終了後に、暫定的にどのグループに加わるか意向の確認も行いたいと思えますので、ご理解とご協力をお願い致します。

それでは、まずは各グループから、取り組みについて発表をお願いしたいと思います。

●A（職場体験）、B（夢塾）、C（学童クラブ）、D（情報発信）グループから、取り組みについて発表があり、意見交換が行われました。

●「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」の3つのグループに分かれて、意見交換会が行われました。

(3) その他

- 小林委員から、大月みらい協議会が示すふるさと教育のテーマである「夢」を明確化した方がいいという意見と図書館を活用した取り組みの提案があり、今後新しい事業やテーマについては少し時間をかけて、温めながら今後議論していくこととなりました。
- 次回会議の日程は、議長、副議長と日程調整をさせていただき、あらためてご案内することとなりました。